

# さやまの昔ばなし

⑧

このコーナーでは、昔から市内で語り継がれている言い伝えなどを、池原さん流の描画で紹介いたします。



## 狭山茶の語

八十八夜もすぎることとなりまして、市内のお茶畑では新茶の茶つみ風景が見られるようになります。昔は、お茶づくりのすべてが手仕事でしたので、五月になるとたくわいの茶つみ娘やほいし(和紙ではたほいし)の上で手もみでお茶も伝る取人のことがやってきました。山中治の新茶と狭山の茶が出あいましたよ横浜で、と茶つみうたもつたてはたらいたさうす。狭山茶の歴史は古く栄西禪師が中国より種子を持ち帰ったといわれ、河越茶(現在、狭山茶)が武蔵国の銘茶として名をはせたといわれています。

題字・絵・文／池原昭治氏

池原さんのプロフィールやほかの作品はこちら▼



広報さやまへのご意見・ご感想は  
はがき・メール・FAXで広報課へ



〒350-1380  
狭山市入間川1丁目23番5号



koho@city.sayama.saitama.jp



TEL 04-2953-1111  
FAX 04-2953-1117

公式ホームページ



公式フェイスブック



公式ツイッター



狭山市LINE公式アカウント  
ID:@citysayama



## 発熱などの症状がある場合の受診方法

発熱などの症状がある場合は、県ホームページに掲載されている医療機関へ必ず事前予約の上、受診してください。予約がないと受診できないことがあります。なお、新型コロナウイルス感染症の検査は医師が診察の上、必要と判断した場合に行います。陰性証明取得などを目的とした検査は行っていません。



県ホームページ

【受診先の確認・受診を迷う場合】

▶埼玉県受診・相談センター ☎048-762-8026 (日曜日を除く9時~17時30分) ▶県民サポートセンター ☎0570-783-770 (24時間受付)

問合せ 健康づくり支援課 ☎2956-8050